

令和 3 年度 諫早市在宅医療・  
介護連携支援センター運営事業  
活動報告書

一般社団法人 諫早医師会  
諫早市在宅医療・介護連携支援センター  
(かけはし いさはや)

**事業の目的**

要介護者等が、住み慣れた地域で在宅生活の継続に必要な医療と介護サービスを円滑に提供できる体制を構築するため、専門職から在宅医療に関する相談に対して支援を行います。

また必要な情報を発信するなど、医療と介護事業者の連携をサポートすることを目的としています。

諫早市在宅医療・介護連携支援センター

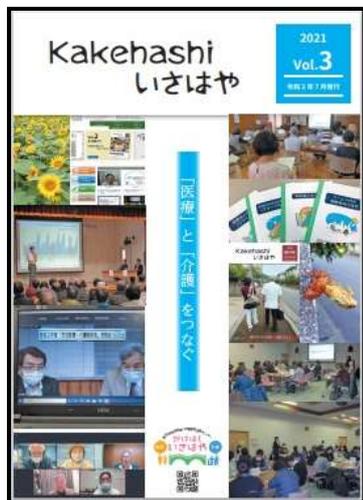
TEL : 46-3166 FAX : 46-3167



## 令和3年度 主な取り組み

### 「Kakehashi いさはや」情報紙の発行（継続）（資料1）

情報紙発行2年目となり、関係機関に対し「かけはしいさはや」の役割や活動内容、また専門職の皆さんの視点から、相互に理解し合い、医療と介護の連携の一助となるよう情報紙を発行しています。



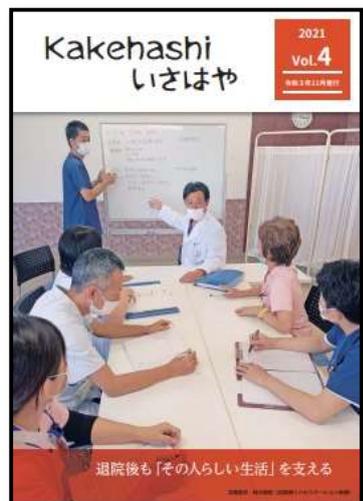
### VOL. 3

～いつまでも住み慣れた地域で暮らせるように～

#### 「医療」と「介護」をつなぐ

平成30年8月に開所し、4年目を迎えるかけはしいさはやの活動内容を紹介しました

- 「医療」と「介護」の“かけはし”となるために
- 「在宅医療・介護関係者」研修会を開催しました
- 在宅医療・介護連携等に関するアンケート調査を実施しました
- RAINBOW FMIに出演してきました
- 編集後記



### VOL. 4

#### 退院後も「その人らしい生活」を支える

【特集】 患者家族だけでなく、在宅生活を支える専門職とのかけはしとなり、安心して暮らせるよう退院調整を展開している医療ソーシャルワーカーにインタビューしました

- ・西諫早病院医療連携室 米倉 康佑さん
- ・姉川病院地域医療福祉連携課 矢野 忠さん

- 「在宅医療・介護関係者」研修会を開催しました
- 在宅医療と介護の市民講演会を開催しました
- Information



### VOL. 5

#### 地域で暮らすための3つの「つながる」

【特集】 「医療」「多職種」「地域住民」とのつながりの中で要介護者の生活を支援してしているケアマネジャーにインタビューしました

- ・ケアプランセンター平和 橋口 英俊さん
- ・居宅介護支援事業所「たんぽぽ」 今村 なるみさん
- ・北部地域包括支援センター 古賀 瑞絵さん

- 「在宅医療・介護関係者」研修会を開催しました
- 令和4年度研修会・講演会開催予定

# 令和3年度 主な取り組み

## 研修会は医療・介護関係者からの希望に沿ったテーマで開催しました

「在宅医療・介護関係者」研修会は、諫早医師会、諫早市歯科医師会、諫早市薬剤師会及び諫早市在宅ケアサークル様のご協力を頂き、6回の研修会をZoomにて開催しました。

研修会のテーマは、令和3年4月に実施した「在宅医療・介護連携等に関するアンケート調査」の中で、三師会等の先生方に講演してほしい研修テーマをお尋ねし、そのテーマに沿った研修会となりました。

また、主任ケアマネジャーの方には、「長崎県主任介護支援専門員 更新研修受講要件対象研修」として、修了証明書を26人に交付しています。

### 取り組み内容

#### 第1回（主催）



令和3年度 第1回  
在宅医療・介護関係者研修会  
『ACP  
ことはじめ』  
講師：清岡 聡 先生  
（長崎県立総合医療センター 在宅医療推進部長）

【日程】 6月25日(月) 19時30分～21時 (Web接続は19時15分～)  
【開催方法】 オンライン研修 (Zoom使用)  
【受講料】 500円  
【申し込み方法】 ①参加費入力、Web接続を入力、開催費が承認された後、Kakehashi@kaiya555@gmail.com に返信してください。  
②こちらから申し込みます  
【申し込み締切】 6月23日(日) 23時59分59秒(日本標準時)まで  
【お問い合わせ】 095-338-1111 (在宅医療推進部長 清岡 聡 先生)

#### 第2回（主催）



令和3年度 第2回  
在宅医療・介護関係者研修会  
『落とし穴に学ぶ！ 在宅での服薬支援』  
講師：池田 理恵 先生  
こはく堂薬局 管理薬剤師

【日程】 6月24日(日) 13時～15時 (Web接続は14時45分～)  
【開催方法】 オンライン研修 (Zoom使用)  
【受講料】 500円  
【申し込み方法】 ①参加費入力、Web接続を入力、開催費が承認された後、Kakehashi@kaiya555@gmail.com に返信してください。  
②こちらから申し込みます  
【申し込み締切】 6月22日(金) 23時59分59秒(日本標準時)まで  
【お問い合わせ】 095-338-1111 (在宅医療推進部長 池田 理恵 先生)

#### 第3回（共催）



令和3年度 第3回在宅医療・介護関係者研修会  
『ペイシエントハラスメントへの対処法  
—その理論と実践—』  
講師：弁護士法人ふくぎ法律事務所  
弁護士 福岡 博孝 先生

【日程】 令和3年10月25日(月) 19時30分～21時 (Web接続は19時15分～)  
【開催方法】 オンライン研修 (Zoom使用)  
【受講料】 500円  
【申し込み方法】 ①参加費入力、Web接続を入力、開催費が承認された後、kaiya555@kaiya555@gmail.com に返信してください。  
②こちらから申し込みます  
【申し込み締切】 10月23日(日) 23時59分59秒(日本標準時)まで  
【お問い合わせ】 095-338-1111 (在宅医療推進部長 福岡 博孝 先生)

#### 第4回（主催）



令和3年度 第4回  
在宅医療・介護関係者研修会  
『誰でもわかる『口』の世界  
～今日からあなたも「口」博士～』  
講師：河井 洋祐 先生  
かわい歯科クリニック 院長

【日程】 令和3年10月28日(日) 13時30分～15時 (Web接続は13時15分～)  
【開催方法】 オンライン研修 (Zoom使用)  
【受講料】 500円  
【申し込み方法】 ①参加費入力、Web接続を入力、開催費が承認された後、Kakehashi@kaiya555@gmail.com に返信してください。  
②こちらから申し込みます  
【申し込み締切】 10月26日(金) 23時59分59秒(日本標準時)まで  
【お問い合わせ】 095-338-1111 (在宅医療推進部長 河井 洋祐 先生)

#### 第5回（共催）



諫早市在宅ケアサークル2周年記念  
令和3年度 第5回在宅医療・介護関係者研修会  
『アルコール関連問題と  
高齢者の対応について』  
講師：福田 貴博 先生  
医療法人見込会 あまやま病院 依存症科 医長

【日程】 令和3年2月28日(日) 13時30分～15時 (Web接続は13時15分～)  
【開催方法】 オンライン研修 (Zoom使用)  
【受講料】 500円  
【申し込み方法】 ①参加費入力、Web接続を入力、開催費が承認された後、Kakehashi@kaiya555@gmail.com に返信してください。  
②こちらから申し込みます  
【申し込み締切】 2月26日(金) 23時59分59秒(日本標準時)まで  
【お問い合わせ】 095-338-1111 (在宅医療推進部長 福田 貴博 先生)

#### 第6回（主催）



令和3年度 第6回  
在宅医療・介護関係者研修会  
『在宅での看取りケアに関する  
多職種連携について』  
講師：吉田 知之 先生  
吉田内科クリニック 院長

【日程】 令和3年3月16日(水) 19:00～20:00 (Web接続は18:45～)  
【開催方法】 オンライン研修 (Zoom使用)  
【受講料】 500円  
【申し込み方法】 ①参加費入力、Web接続を入力、開催費が承認された後、kaiya555@kaiya555@gmail.com に返信してください。  
②こちらから申し込みます  
【申し込み締切】 3月14日(月) 23時59分59秒(日本標準時)まで  
【お問い合わせ】 095-338-1111 (在宅医療推進部長 吉田 知之 先生)

### 成果と課題

コロナ禍の中、昨年に引き続き、Zoomによる研修会を開催した。三師会のご協力のもと、今年度よりそれぞれの先生に講演頂き、年3回の研修会とした。また、諫早市在宅ケアサークルと連携・協力しながら研修会を開催できたことは大きな成果であった。今後もより連携を深め、相互に充実した研修会としたい。多職種が相集う研修会は開催できなかったが、今後はハイブリッド形式の研修会の開催や2職種、3職種による顔の見える意見交換会や研修会を開催したい。

## ア 地域の医療・介護の資源の把握

在宅医療に関する専門相談や退院時の相談支援に必要な情報収集のため、医療機関や介護事業所、高齢者施設にアンケート調査を実施し、ホームページに掲載している情報を更新しています。

### 取り組み内容

#### ア 情報の更新

- ① 医療機関の情報更新は、三師会の協力を得て年1回更新を行った。(資料2)
  - ② 介護事業所情報は、長崎県長寿社会課のデータを基に半年に1回更新した。(資料3)
  - ③ 高齢者施設情報は、長崎県長寿社会課のデータを基に半年に1回更新した。(資料4)
- イ 高齢者施設（軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護（GH））の事業所に対し医療処置があっても入居可能なもの、看取り対応、費用、施設PRなどアンケート調査を実施して情報を更新した。(資料5)

#### ホームページ掲載

在宅訪問医療機関情報	
在宅医療機関一覧	59件
訪問歯科医院一覧	42件
訪問薬局一覧	50件

高齢者施設一覧掲載件数			
介護療養型医療施設	3件	○有料老人ホーム	15件
介護老人保健施設	4件	○サービス付き高齢者向け住宅	16件
介護老人福祉施設	8件	○軽費老人ホーム	4件
地域密着型介護老人福祉施設	8件	○認知症対応型共同生活介護	24件
介護医療院	3件	※：○は費用や通院送迎など詳細を表示	

介護保険サービス事業所情報	
通所リハビリテーション	21件
訪問リハビリテーション	8件
デイサービス事業所	47件
地域密着型デイサービス事業所	36件
認知症対応型デイサービス事業所	7件
ショートステイ（短期生活）	16件
ショートステイ（短期療養）	13件
訪問看護ステーション	17件
訪問入浴	1件
小規模多機能型居宅介護	9件
訪問介護事業所	43件
福祉用具販売	10件
福祉用具レンタル	11件
巡回訪問	1件
居宅介護支援事業所	52件



医療処置があっても入居可能なもの、看取り対応、費用などを集約し、冊子にしました

### 成果と課題

- ・コロナ禍の中、介護サービス事業所や高齢者施設の訪問調査はできなかったが、アンケート調査を実施するなど情報の更新に努め、施設や事業所等の情報提供や相談対応に活用した。
- ・医療・介護資源情報更新に合わせマップ化し、周辺状況も併せて掲載した。
- ・各地域包括支援センターと連携し、社会資源情報の把握に努める必要がある。

## イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

在宅医療・介護に関わる専門職に対し、他の専門職との連携状況や連携する上での課題やそれぞれの専門職に対するご意見についてアンケート調査を実施しました。

### 取り組み内容

#### アンケート調査項目

ホームページ掲載

- ①他の事業所との連携状況やよく連携している事業所
- ②連携をとりやすい職種や連携をしやすい理由
- ③連携を取りにくい職種やその理由
- ④それぞれの職種から他の職種に望むこと
- ⑤三師会の先生方へ希望する研修会のテーマ
- ⑥2 職種・3 職種での意見交換会について

在宅医療・介護連携等に関するアンケート調査

	送付先事業所等	送付件数	回答数	回答率
1	病院・一般診療所	125	14	11.2%
2	歯科診療所	41	7	17.1%
3	薬局	50	17	34.0%
4	医療連携室	13	8	61.5%
5	訪問看護事業所	17	10	58.8%
6	居宅介護支援事業所	52	32	61.5%
7	訪問介護事業所	38	15	39.5%
8	高齢者施設	81	50	61.7%
9	地域包括支援センター	5	5	100.0%
	合計	422	158	37.4%

### 成果と課題

調査項目④について、⑥の意見交換会を予定していたが、コロナ禍により開催出来なかった。  
研修会では⑤を参考に講演頂いた。

## ウ 在宅医療・介護関係者の情報共有の支援

### 取り組み内容

医療関係者とケアマネジャーの情報共有ツール「諫早市入退院支援連携ガイドブック」は、ホームページにスライダーを作成しワンクリックで活用しやすくするなど、医療機関及び介護事業所等への周知を行いました。

### 成果と課題

今後は研修会などを通じた周知を継続し、利用拡大を図ることが必要である。

#### ホームページスライダー



#### 諫早市入退院支援連携ガイドブック



令和3年12月  
諫早市



協力医療機関窓口一覧①

医療機関名	住所	診療科目	連携担当	連絡先	備考
市立中央病院	804-0001	内科	市立中央病院	804-0001	804-0001
市立西病院	804-0002	内科	市立西病院	804-0002	804-0002
市立東病院	804-0003	内科	市立東病院	804-0003	804-0003
市立南病院	804-0004	内科	市立南病院	804-0004	804-0004
市立北病院	804-0005	内科	市立北病院	804-0005	804-0005

医療機関名	住所	診療科目	連携担当	連絡先	備考
市立中央病院	804-0001	内科	市立中央病院	804-0001	804-0001
市立西病院	804-0002	内科	市立西病院	804-0002	804-0002
市立東病院	804-0003	内科	市立東病院	804-0003	804-0003
市立南病院	804-0004	内科	市立南病院	804-0004	804-0004
市立北病院	804-0005	内科	市立北病院	804-0005	804-0005

居宅介護支援事業所や地域包括支援センターなどの医療・介護関係者、関係機関から医療機関情報や在宅療養等に関する相談に対して、電話や窓口での情報提供や助言に努めました。

また、要介護者等の退院時に際し、医療関係者や介護サービス事業者その他の関係者の相談に応じ、関係機関との連携を図り退院支援に努めました。（参考1）

相談内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談区分	合計	6	2	2	1	1	0	3	0	2	2	0	3	22
在宅療養支援	①医療等に関する相談	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	7
	②介護等に関する相談	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
	③短期入院・入所に関する相談	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
	④看取りに関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転・退院支援	⑤医療情報に関する相談	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	⑥介護情報に関する相談	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4
その他	⑦苦情・クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑧その他	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
相談者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談者区分	合計	6	2	2	1	1	0	3	0	2	2	0	3	22
ケアマネ	居宅介護支援事業所	3	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	8
医療関係者	病院、医院	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6
	診療所（歯科含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問看護ステーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業所	在宅サービス事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設サービス事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関等	地域包括支援センター	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4
	行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	市民	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 取り組み内容

地域の医療・介護関係者等から、在宅医療、施設情報に関する相談を受けた。

訪問診療をしてくれる在宅医や看取り対応可能な在宅医の情報に関する相談、透析時の通院送迎ができる施設や入所可能な施設情報などの相談に対応した。

施設情報の問い合わせには、ホームページに掲載している施設別個票により対応した。

新型コロナウイルスワクチン接種の相談先の質問があり、ワクチン接種推進室を紹介した。また、市民から「施設を紹介してほしい、資料があれば来所する」との相談に、施設別個票等により説明・対応した。

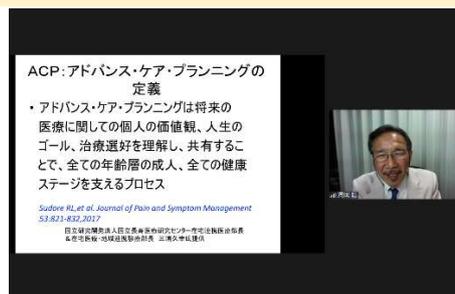
## 成果と課題

相談件数22件。市外の病院からの相談や対応困難ケースで「在宅医を紹介してほしい」などの相談は、担当理事へ報告・相談し対応した。また、相談者にはその後の対応状況を確認するなど、相談対応を検証し今後の参考としている。

高齢者施設の詳細情報の一覧はホームページへ掲載しているが、まだホームページを十分活用されていない現状も見受けられたため、医療機関・居宅介護支援事業所等への周知が必要である。

**第1回** テーマ 「ACPことはじめ」

開催日 令和3年6月28日（木）19:30～21:00  
 講師 満岡内科クリニック（佐賀市大和町）  
 院長 満岡 聡先生  
 会場 オンライン開催  
 参加者 132名



**【講演内容】**

ACP講演のはじめに、脳血管障害や認知症など要介護の原因や認知所高齢者の増加などをデータを基に説明された。

また、複数の医師より亡くなるのは時間の問題と指摘された事例を通して、自身や親族の時の医療処置をどう捉えるかなど、ACPの目的として、ACPの動機づけや話し合う内容、繰り返しの話し合いなど、”本人にとって最善のものを関係者が共有する大切さ”について講演を頂いた。

**【参加者からのご意見】**

- ・本人の意向が一番で、最善を目指すことの重要性を再認識した。
- ・答えは一つではなく当時者の様々な思いをくみ取ること、度々行う事が望ましいことが理解できました。
- ・「あなたならどうしますか」で考え込みました。

職種別	人数	割合
医師	4	3.0%
歯科医師	5	3.8%
薬剤師	17	12.9%
ケアマネジャー	25	18.9%
保健師	6	4.5%
看護師	19	14.4%
理学療法士	7	5.3%
社会福祉士	1	0.8%
介護福祉士	2	1.5%
ホームヘルパー	16	12.1%
介護職	3	2.3%
生活相談員	3	2.3%
MSW	8	6.1%
管理栄養士・栄養士	1	0.8%
歯科衛生士	8	6.1%
事務職	7	5.3%
合計	132	100.0%

**第2回** テーマ 「落とし穴に学ぶ！居宅での服薬支援」

開催日 令和3年9月16日（木）19:00～20:00  
 講師 こはく堂薬局 管理薬剤師 池田 理恵先生  
 会場 オンライン開催  
 参加者 100名



**【講演内容】**

薬の特徴や、服薬支援の落とし穴がどんなところにあるのか、詳しくお話いただいた。また、患者・利用者の実際によくある事例を取り上げて、飲めない(飲まない)方への対応や飲みやすくする工夫など具体的な方法もお話いただいた。

薬の特徴を理解することで、様々な工夫へとつながることを学び、また、困った時にはかかりつけ薬剤師に相談しながら、チームで対応していくことの大切さを実感した。

**【参加者からのご意見】**

- ・疑問に思っていたこと、困っていたことと講演内容が合っていて、とても参考になり助かりました。
- ・詳しい資料もいただいたので、読み返して理解を深めたい。
- ・薬剤師の方へ相談して、利用者さんが正しく飲めるようにしたい。
- ・普段行っている服薬支援の他に新たな方法を知ることができた。

職種別	人数	割合
医師	2	2.0%
歯科医師	6	6.0%
薬剤師	17	17.0%
ケアマネジャー	25	25.0%
保健師	3	3.0%
看護師	13	13.0%
理学療法士	3	3.0%
社会福祉士	4	4.0%
介護福祉士	5	5.0%
ホームヘルパー	15	15.0%
介護職	2	2.0%
生活相談員	1	1.0%
MSW	0	0.0%
管理栄養士・栄養士	0	0.0%
歯科衛生士	0	0.0%
事務職	4	4.0%
合計	100	100.0%

**第3回** テーマ 「ペイシェントハラスメントへの対処法—その理論と実践—」

開催日 令和3年10月25日(木) 19:30~21:00

講師 弁護士法人ふくざき法律事務所  
 弁護士 福崎 博孝先生

会場 オンライン開催

参加者 191名



**【講演内容】**

ペイシェントハラスメントは、医療者が患者・家族から受ける暴言・暴力、セクハラ等のハラスメントのことで、その対処法について講演いただきました。

常に病院や事業所など、組織として対応すること、警察との連携、担当職員の心構え、医療者と患者家族のコミュニケーションの重要性、診療拒否の問題など盛り沢山のお話でした。

また、研修会参加者からの多くの質問に対する回答や事前説明や契約書の見直しなど具体的なアドバイスを頂きました。

**【参加者からのご意見】**

- ・三原則、組織で対応、複数で対応、職員を守る、が頭に入りました。
- ・事業所内で契約書内容等について話し合っていきたい。
- ・冷静な対応を心掛け、自分自身の対応はどうだったかな振り返りを行い、雑談しながら信頼関係を気づけていけたらと思う。
- ・ハラスメントは組織で対応すること。組織として基準、ルールを作り、契約時に明示すること。患者、利用者にも協力する義務があることなどの対策が理解できた。

職種	人数	割合
医師	2	1.0%
歯科医師	7	3.7%
薬剤師	1	0.5%
ケアマネ	41	21.5%
保健師	4	2.1%
看護師	79	41.4%
理学療法士・作業療法士	10	5.2%
社会福祉士	1	0.5%
介護福祉士	4	2.1%
ヘルパー	16	8.4%
生活相談員	2	1.0%
MSW	5	2.6%
福祉用具	1	0.5%
言語聴覚士	4	2.1%
施設長、事務、管理者	14	7.3%
合計	191	100.0%

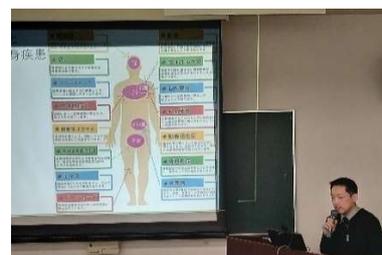
**第4回** テーマ 「誰でもかわる『口』の世界～今日からあなたも『口』博士～」

開催日 令和3年12月2日(木) 19:00~20:00

講師 かわい歯科クリニック院長 河井 洋祐先生

会場 オンライン開催

参加者 83名



**【講演内容】**

認知症や転倒など介護が必要になった原因のデータを基に、奥歯の噛み合わせの有無と転倒のリスク、小歯数による認知症発症リスクなどの関りについて講演頂きました。

また、歯周病と全身疾患の関りでは、誤嚥により歯周病菌が肺に入り肺炎を引き起すことや、血液で運ばれた歯周病菌が虚血性心疾患や心筋梗塞の要因となるなどの関係性を話されました。

齧齧<sup>ウシ</sup>や歯周病、口腔疾患の予防や口臭を取り除くなど口腔ケアの目的や手入れの仕方、舌と粘膜のケアの方法など詳しく説明頂きました。

**【参加者からのご意見】**

- ・歯周病と全身疾患の関りや口腔を診るポイントなど在宅の現場に活かしていきたい。
- ・歯周病菌が全身に巡り持病を悪化させたり、口臭の原因や全身疾患になることが分かりました。また、自歯や義歯でもしっかり奥歯で噛むことが認知症の発症リスクや転倒のリスクを軽減することがわかり、ご利用者の方にも周知していきたい。

職種	人数	割合
医師	5	6.0%
歯科医師	3	3.6%
薬剤師	3	3.6%
ケアマネジャー	34	41.0%
保健師	5	6.0%
看護師	10	12.0%
理学療法士	3	3.6%
社会福祉士	5	6.0%
介護福祉士	1	1.2%
ホームヘルパー	3	3.6%
介護職	0	0.0%
生活相談員	0	0.0%
MSW	1	1.2%
管理栄養士、栄養士	1	1.2%
歯科衛生士	2	2.4%
事務職	5	6.0%
精神保健福祉士	1	1.2%
臨床検査技師	1	1.2%
合計	83	100.0%

**第5回**

テーマ 「アルコール関連問題と高齢者の対応について」  
 開催日 令和4年2月28日(月) 19:30~21:00  
 会場 オンライン開催  
 講師 あきやま病院 依存症病棟医長 福田 貴博先生  
 参加者 83名



**【講演内容】**

アルコール依存症は、ストレスや苦痛からくる「生きづらさ」が根底にあること、またアルコールの量や時間、状況がコントロールできなくなる病気であることなど講演頂きました。事前質問でも多かった、アルコール依存症の方をどうやって精神科へ繋げるか、受診の促し方についても、本人・家族への具体的な対応方法などをご教授いただきました。

**【参加者からのご意見】**

- ・受診の必要性の説明やアプローチの話の中で、「誰のニーズになるのか…」が印象に残り、それを踏まえながら対応したい。
- ・高齢者のアルコール依存については、本人・家族にニーズがなくても地域からの苦情という形で問題化することが多く地域にどう納得してもらおうかが、依然として課題だと感じた。
- ・アルコール依存症には、根底に生きづらさがある、とのこと。ただアルコールを断つだけでなく、根底の生きづらさとの折り合いをつけていくことも大事で、これはアルコールに限らず依存症には共通するものだと勉強になった。

職種	人数	割合
医師	5	6.0%
歯科医師	3	3.6%
薬剤師	3	3.6%
ケアマネジャー	34	41.0%
保健師	5	6.0%
看護師	10	12.0%
理学療法士	3	3.6%
社会福祉士	5	6.0%
介護福祉士	1	1.2%
ホームヘルパー	3	3.6%
介護職	0	0.0%
生活相談員	0	0.0%
MSW	1	1.2%
管理栄養士、栄養士	1	1.2%
歯科衛生士	2	2.4%
事務職	5	6.0%
精神保健福祉士	1	1.2%
臨床検査技師	1	1.2%
合計	83	100.0%

**第6回**

テーマ 「在宅での看取りケアに関する多職種の連携について」  
 開催日 令和4年3月16日(水) 19:00~20:00  
 会場 オンライン開催  
 講師 吉田内科クリニック院長 吉田知之先生  
 参加者 134名



**【講演内容】**

「在宅医療とは」「看取り」の定義や「在宅医療の心構え」のお話しの後、在宅医療では、全人医療・プライマリケア・多職種連携が一層求められ、高齢化社会において地域社会のインフラの一つとなる、と在宅医療の重要性を熱く語られました。

また、「在宅緩和ケアが成功するポイント」や「死の概念の捉え方」、「グリーンケア」、「デスクンファレンスの目的」など、症例を交え、現状の在宅医療について講演頂きました。

**【参加者からの感想】**

- ・在宅医療を希望する患者様や家族の思い、またそれに携わるスタッフの心得等を改めて知る、考える機会となりました。
- ・今回の研修は、病院医師や看護師にも聞いてほしいと思いました。
- ・多職種連携は主松木に限ったことではなく、日頃から顔の見える関係が大事だと思いました。
- ・いつでも、どこでも、誰でも緩和ケアが受けられる、社会の仕組みが進むことを願います。

職種	人数	割合
医師	5	3.7%
歯科医師	2	1.5%
薬剤師	14	10.4%
ケアマネジャー	41	30.6%
保健師	1	0.7%
看護師	31	23.1%
理学療法士	4	3.0%
社会福祉士	1	0.7%
介護福祉士	0	0.0%
ヘルパー	18	13.4%
介護職	2	1.5%
生活相談員	3	2.2%
MSW	1	0.7%
管理栄養士、栄養士	0	0.0%
歯科衛生士	3	2.2%
事務職	8	6.0%
合計	134	100%

## キ 地域住民への普及啓発

### ① 医療と介護に関する市民講演会の開催（資料7）

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活が出来る「在宅医療」について理解を深めてもらうことを目的に、三師会の先生方及び市高齢介護課と連携し市民講演会を開催しました。

ホームページ掲載



令和3年  
**10/2 (土)**  
14:00～  
(受付13:00～)

要申込み  
定員100名

参加  
無料

たらみ図書館  
海のホール

令和3年度在宅医療と介護の市民講演会  
**在宅医療ってなあに？**  
～あなたを支える医療と介護～

【駐車場案内】  
多良見駐車場ではなく、  
運動公園駐車場をご利用ください。

【講演会プログラム】  
「ご存知ですか 介護保険」  
高齢介護課 中島梨奈・平野加奈  
「在宅医療ひそひそ話  
～こんな事しています、訪問診療～」  
すぎやま内科長 杉山 啓一  
「こちら歯科医院、出動します」  
かわい歯科クリニック院長 河井 洋祐  
「通院が困難な方へ～薬剤師の在宅訪問～」  
たらみタウン薬局薬剤師 三池 佳裕

### 取り組み内容

日時 令和3年10月2日 午後2時から4時まで

会場 たらみ図書館海のホール

対象者 多良見地域にお住まいの皆さん 参加者 55名

テーマ 在宅医療ってなあに～あなたを支える医療と介護

【講師】

高齢介護課 中島梨奈様、平野加奈様

【テーマ】「ご存知ですか 介護保険」

すぎやま内科 杉山啓一先生

【テーマ】「在宅医療ひそひそ話～こんなことしています、訪問診療～」

かわい歯科クリニック 河井洋祐先生

【テーマ】「こちら歯科医院、出動します」

たらみタウン薬局 三池佳裕先生

【テーマ】「通院が困難な方へ～薬剤師の在宅訪問～」

### 講演内容

行政からは介護保険の申請方法などの説明の後、杉山先生より在宅医療の対象者や在宅でできる医療行為、また家族の役割などについて講演頂いた。

河井先生からは、歯科訪問診療時の診療内容、歯周病や誤嚥・肺炎予防のための口腔ケアや口腔リハの必要性について、また三池先生からは、薬剤師が行う残薬などの服薬管理やかかりつけ薬局に相談することなどをご講演頂きました。

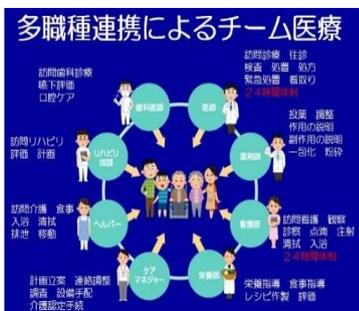
【アンケートでのご意見】

- ・口腔ケアの大切さがわかった。薬剤師の訪問を知らなかった。
- ・自宅で一生を終えるのも尊いと思い、お話が聞いて良かった。
- ・「最後まで自分らしく暮らしたい…」全くその通り。様々なことを学びたい。ACPのことも知りたい。

### 成果と課題

- ・定員を収容人数の半数以下に設定し、コロナウイルス感染症対策を行い開催した。また、事前に自治会長会議で説明し、チラシの全戸配布をお願いした。
- ・コロナ感染拡大など急遽中止することも想定し、参加者には事前に参加申込書を提出（FAX）頂く対応を行った。

※1月29日「長田みのり会館」で開催予定の講演会は、コロナ禍により中止し、令和4年度に開催することとした。



どんなことをしてる？薬剤師の在宅業務

- 患者宅への医薬品の供給・服薬の説明
- 患者の状態に応じた調剤（一包化、粉砕など）
- 服用状況・保管状況の確認（服薬カレンダー等による服薬改善）
- 副作用等のモニタリング
- 残薬の管理
- 在宅担当医への処方支援
- ケアマネージャー等の医療福祉関係者との連携 ...など

## キ 地域住民への普及啓発

### ② 医療と介護のお気軽座談会の開催（資料8）

概ね10名以上の地域の団体やグループの市民を対象に、在宅医療や介護への理解を深めてもらうことを目的に、「医療と介護のお気軽座談会」を開催しました。



女性大学



千拓いきいきサロン

### 取り組み内容

令和3年度開催状況

	開催日	会場	団体等名称	参加者
第1回	7月2日	森山町共栄千拓公民館	千拓いきいきサロン	8人
第2回	6月10日	市民センター（女性大学）	中央公民館講座	34人
第3回	8月4日	森山公民館	森山地区民児協	14人
第4回	9月17日	多良見支所3階会議室	多良見地区民児協高齢福祉部会	11人
第5回	11月26日	西諫早公民館2階会議室	西諫早公民館成人講座	19人
第6回	1月13日	上山荘2階研修室	上山荘豆知識講座	3人
			合計	89人

### 成果と課題

- ・座談会開催にあたり、代表者と会場の事前確認を行い、スムーズな設営につながった。
- ・お気軽座談会は、参加者と気軽に質問や話し合いができる和やかな場づくりができた。
- ・多くの市民に医療と介護について普及啓発するために、自治会長会議等で「お気軽座談会」を開催していることを周知していく必要がある。

※これまでの市民講演会やお気軽座談会のアンケートやご意見等を取り纏めた。（参考2）



森山公民館



西諫早公民館



多良見支所

## その他の業務

職員の資質向上のため、参加可能な研修会（WEB会議含む）に参加し研鑽に努めました。  
また、県央看護学校の依頼により研修を受け入れました。  
なお、新型コロナウイルス感染症対策により先進地視察は、中止しました。

### （１）研修会への参加

#### 取り組み内容

研修会：令和３年度 長崎県地域包括ケアシステム構築加速化支援事業  
（在宅医療・介護連携推進に関する情報交換会）

主催者：長崎県長寿社会課

日時場所：令和３年１２月３日（金） 県央保健所

講師：埼玉県立大学大学院研究開発センター 川越雅弘教授

研修内容：事業マネジメントの基本的な考え方と進め方

#### 成果と課題

- ・目的⇒目標⇒手段という流れで事業展開する、つまりPDCAサイクルで事業を進めていくことを再認識した。展開方法で7つある段階ごとのポイントが非常に分かりやすく、今後の既存の取組みや新たな取組を進める上で、大変参考になる内容であった。
- ・各市町の事業について進捗状況を知ることができ、意見交換ができた。
- ・在宅医療介護連携推進事業において、“目指す姿”である目標は何か、行政や三師会他、医療・介護関係者が共有しておくことが必要である。

### （２）研修等受け入れ

#### 取り組み内容

県央看護学校専門課程３年生への講義（令和３年１１月１８日）

テーマ：「在宅療養者の視点で医療介護連携を考える」

#### 成果と課題

在宅医療・介護連携推進事業の一つである当センターの役割などを担当者が説明。  
病院等の看護師として、在宅医療・介護関係者と共に在宅療養者を支えるという意識、  
視点を持てるような内容とした。



## これまでの「市民講演会・お気軽座談会」アンケート集計

参加者数	451人	アンケート 回答者数	403人	回収率	89%
------	------	---------------	------	-----	-----

### 1 市民講演会・お気軽座談会 開催状況 (平成30年度～令和3年度)

【開催経過】

平成30年8月、諫早市在宅医療・介護連携支援センター開設後、市民講演会は年間1回の開催としていた。

また、市民への啓発活動として、「お気軽座談会」を令和2年度より開催することとした。

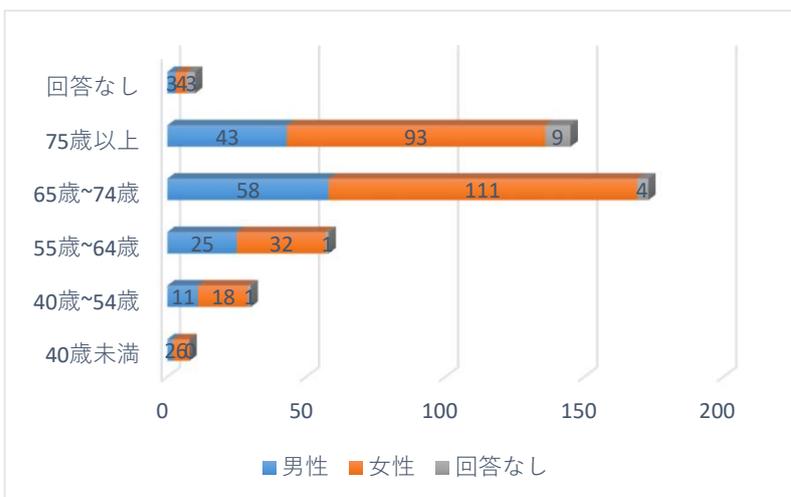
アンケート内容は、講演会、座談会ともに同じ内容とすることで、結果を蓄積している。

なお、令和3年度より市民講演会を年2回の開催としていたが、令和4年1月に新型コロナウイルス感染症対策として県下全域に特別警報警報が発令されたため、中止、延期とした。

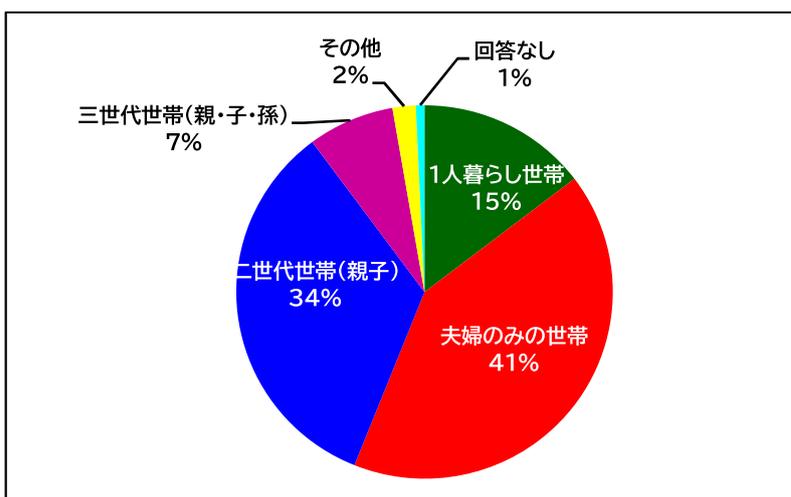
市民講演会・お気軽座談会参加者数						
番号	開催日	区分	団体名称	開催場所	参加者数	アンケート 回答数
1	平成31年2月22日	市民講演会		森山公民館	114	84
2	令和元年12月6日	市民講演会		本野ふれあい会館	50	45
3	令和2年1月30日	お気軽座談会	にこちゃんの会	真崎町公民館	17	14
4	令和2年2月13日	お気軽座談会	上山荘ミニ講座	上山荘	16	16
5	令和2年3月17日	お気軽座談会	小長井地区民児協	さざんか会館	14	14
6	令和2年5月22日	お気軽座談会	西河内いきいきサロン	西河内公民館	コロナにより中止	
7	令和2年7月15日	お気軽座談会	いきいきサロンあじさい会	新道町公民館	コロナにより中止	
8	令和2年7月21日	お気軽座談会	舟津いきいきサロン	船津公民館	17	14
9	令和2年10月23日	お気軽座談会	いきいきサロン原口	原口公民館	12	12
10	令和2年11月14日	市民講演会		有喜ふれあい会館	20	20
11	令和2年12月10日	お気軽座談会	上山荘ミニ講座	健康福祉センター	15	14
13	令和3年2月8日	お気軽座談会	中尾町老人クラブ	中尾町公民館	16	13
14	令和3年2月20日	お気軽座談会	下大渡野町 老人クラブ	下大渡野町 構造改善センター	16	15
15	令和3年4月15日	お気軽座談会	干拓いきいきサロン	森山町共栄干拓公民館	8	8
16	令和3年6月10日	お気軽座談会	市民センター女性大学	市民センター	34	34
17	令和3年8月4日	お気軽座談会	森山地区民児協	森山公民館	14	14
18	令和3年9月17日	お気軽座談会	多良見町民生員	多良見支所会議室	11	11
19	令和3年10月2日	市民講演会		たらみ図書館海のホール	55	54
20	令和3年11月26日	お気軽座談会	西諫早成人講座	西諫早公民館2F	19	18
21	令和4年1月13日	お気軽座談会	上山荘	上山荘 2F	3	3
22	令和4年1月20日	お気軽座談会	久山町老人会	久山公民館	コロナにより延期	
23	令和4年1月28日	市民講演会		長田みのり会館	コロナにより延期	
				合計	451	403

## 2 市民講演会・お気軽座談会 アンケート調査結果

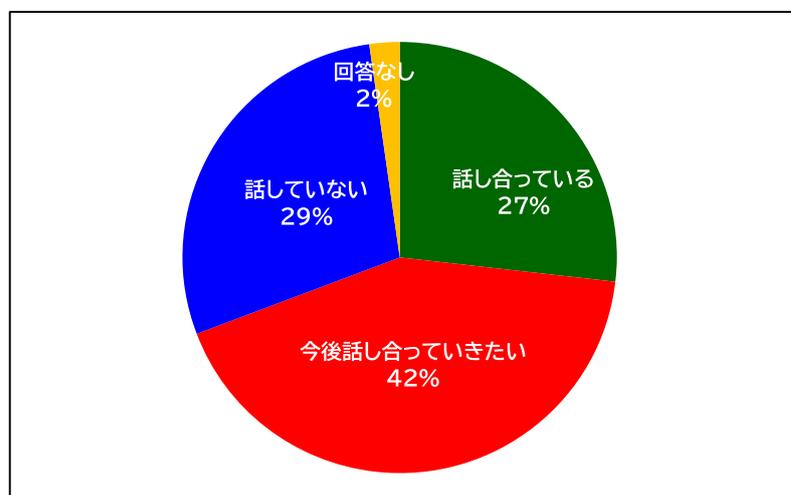
### (1) 性別・年齢



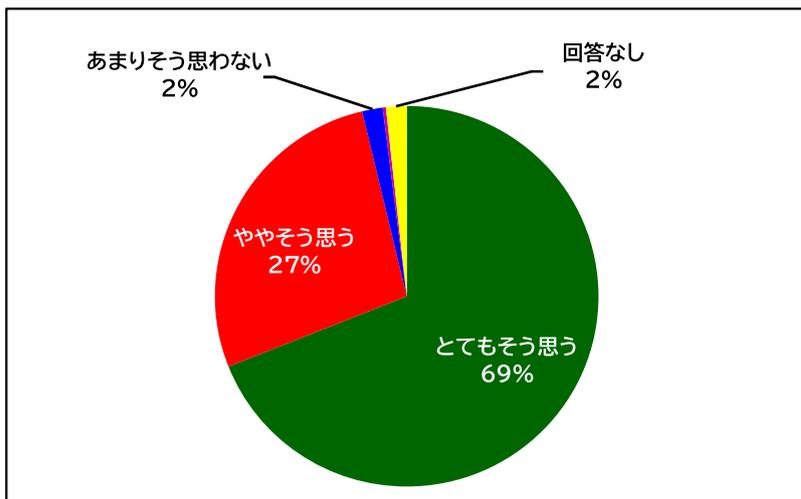
### (2) 現在、誰と住んでいますか



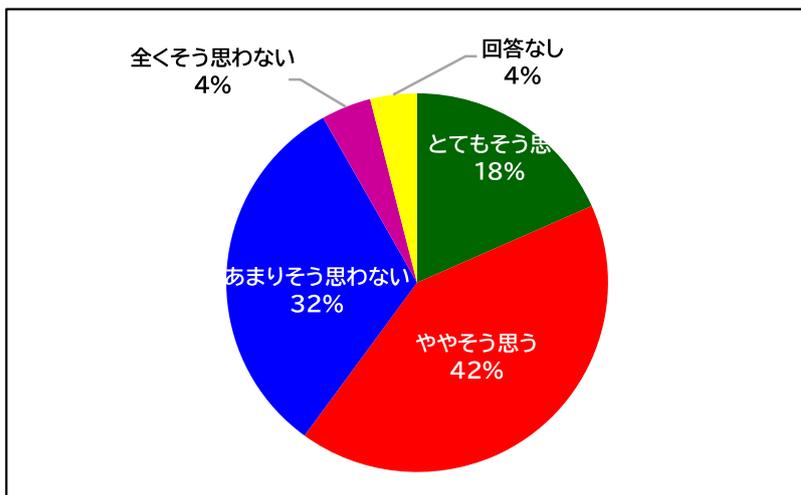
### (3) 介護が必要になった場合について、家族と話し合ったことがありますか



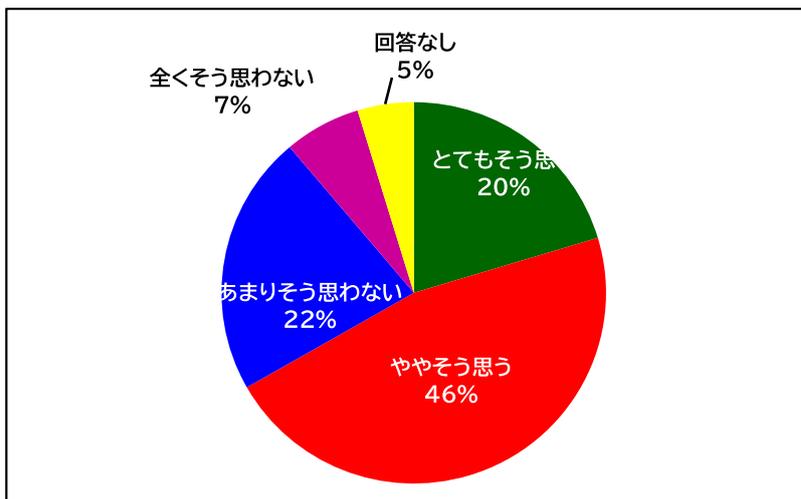
(4) 自分や家族の望む医療や介護について、家族と話し合った方がよいと思いますか



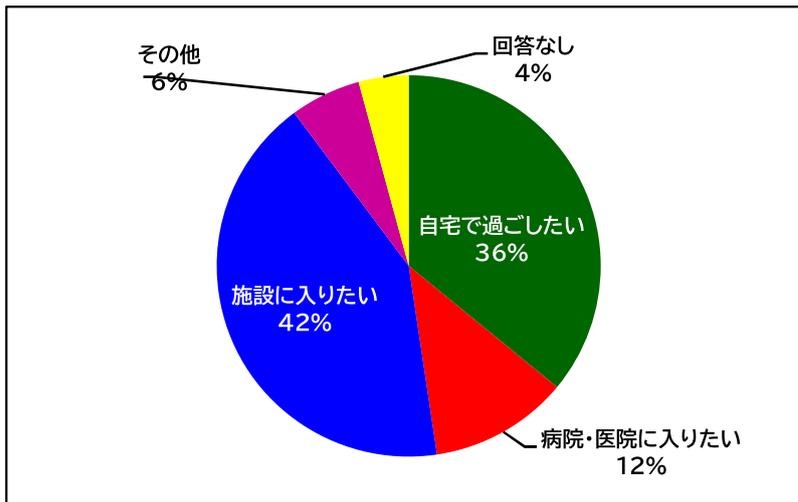
(5) 出来れば介護は家族でする方が望ましいと思いますか



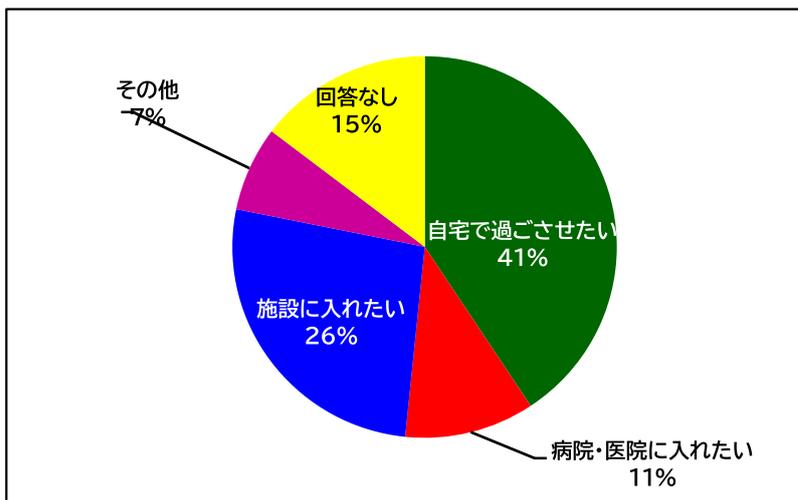
(6) 介護が必要になったとき、家族の世話になりたくないと思いますか



(7) あなたが介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか



(8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか



## (7)介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか？

### 【自宅で過ごしたい理由】

- ・自宅で過ごしたい
- ・家族に負担がないようなら、自宅で過ごしたい。
- ・身の回りの事（トイレ等）が少しでもできるようなら、家で過ごしたい。
- ・介護の程度によると思いますが、出来るなら自宅で過ごしたいと思います。  
でも、夫婦二人なので、老々介護は難しいですし、程度によっては、施設も考えます。
- ・家族に迷惑をかけたくはないが、最後まで自分らしく生きたい。
- ・自分で出来る限りは、在宅で！と思いますが、色々なサービスを利用して訪問医療を受けたい。
- ・住み慣れた家で自分らしく暮らしたい。家でなくても、自分らしく豊かに暮らせたらいいな…。と思う。
- ・程度によるが、家族の手をかりながら、自分も動ける程度の仕事はしたい。  
家にいるとすることが目に入ってくるので、リハビリにもなる。
- ・自宅がいいけど・・・
- ・精神的に安定した状態でいたい。
- ・慣れた所で気をつかわず過ごしたいけど、施設に入らざるを得ない状況である。
- ・家族の世話にならず、在宅で医療・介護のサービスで過ごすことができれば、できる限り在宅で！やはり家族の手を煩わせることになった時は、施設に行く。
- ・認知症の度合いにもよるかな？一人でも心豊かに自律的な生活を送れるようにしておきたい。
- ・日常生活をできるだけしたい。
- ・一時的には家にいて、様子を見てあまり負担がかかりそうであれば、施設に入りたい。  
(家族がいないので)
- ・他県にいる娘が一人になったら、自分の家に来ない？と言ってくれます。が、永い間住み慣れた我が家から離れたくありません。娘や息子がたまに来てくれるだけで十分です。(今はコロナでそれすらできませんが・・・)
- ・自分自身では最後まで自宅でと思いますが、健康面、生活面において家族に迷惑がかかるようになってしまったら、病院・施設に入りたいと考えます。
- ・介護が必要にならないように生きていきたいです。
- ・できるだけ通所等を利用して自宅で過ごしたいが、身体介護が必要になったら、施設に入りたい。家族が遠方で大変。自由である。
- ・配偶者が元気なら自宅がいいが、老々介護は難しいものがあると思う。
- ・配偶者が元気であれば、自宅で。そうでなければ施設に入りたい。
- ・長男夫婦は、昼夜仕事で見てもらえないので、なるべく自宅に来てもらって介護してもらいたい。
- ・自由に過ごしたい。
- ・夫婦で介護し合ったりしたい。一方が欠ければ施設に入りたい。
- ・医療が必要になるまでは、何とか自宅で過ごしてきたいです。  
しかし、医療が自宅で出来るなら、最後も自宅で迎えたいです。
- ・自由があるため。
- ・今はまだ元気なので、そう考えましたが、先のことははっきりわかりません。
- ・自分で食生活が出来る間は、自宅で過ごしたい。

(7) 介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか？

- ・その時の状態にもよるが、認知がひどくなれば施設でも良い。※財政状況にもよる。
- ・出来る事なら自宅で過ごしたいけど、家族に迷惑をかけたくない気持ちが一杯です。
- ・家で気を使うより、ゆっくりのんびりと同世代の人達と過ごせると思うから。若い時のことを話せると思う。
- ・子供達は仕事をもっているから、迷惑をかけたくないから。休みの時、顔を見せてくれたらいいです。
- ・私は、父母、義母、従姉を20年間お世話してきたので、子供達には負担をかけたくない。
- ・家族に負担（世話・迷惑）をかけたくないから。 (ご意見多数)
- ・家族に世話になりたいが、今の現状を考えると『施設に入るのが安心』と思う。相手（妻）も年をとっているから。本当の気持ちは家族と一緒に本音です。
- ・健全な配偶者に過重な負担をかけたくない。雑事に関ることなく、自分の『終わり』をしみじみと考え、感謝を伝えられる。読書に専念できる。
- ・子供に世話を願えないと思う。近くの子供は、嫁ぎ先の親の世話をすることになると思うから。
- ・自宅で過ごすのがベストと思うが、家族を犠牲にしてまでは と考えてしまうため。
- ・家族に迷惑をかけたくない。
- ・現在の自分は自宅だと思っているが、一人なので不安がある。
- ・在宅と施設との関わり（介護サービスを受けながら）ひとり身なので、兄弟姉妹に迷惑をかけたくない。気分的にも逆に安心である。ただその為には、経済的にも準備しておきたい。
- ・近くに家族がいない。
- ・家族に負担を毛けることが忍びない・・・とも考えます。
- ・子供の世話になりたくない。
- ・介護施設を利用しながら、なるべく長く自宅で過ごせればと思う。自分が介護が必要になった時、在宅での生活が無理である場合は自宅での生活を強く望まず、その時々で考えていくようにしたい。又、いつ何時にどうなるか、わからないけど、地域の人達も高齢化してお互いが介護を必要としている場合も考えられるので、自分の事は自分で健康に過ごしていけるように過ごしたいと思います。
- ・家族の世話になりたくない。
- ・なるべく、自宅で過ごしたいですが、家族に迷惑をかけたくないので、施設を希望します。
- ・やはり子供達に迷惑をかけたくないという思いからです。
- ・できるだけ自宅で過ごせたらと思うけれど、家族への負担が心配なので、病院なり施設に入りたいと思います。  
(子供がいない。夫は知識がない。専門職の方に介護してほしい。)
- ・その時の状態・状況によってかわってくると思う。
- ・子供達にも生活があるので、自分が一人になったらとも思います。
- ・なるべくなら自宅でみたいけど、年をとっているから、自分自身が十分な介護をしてあげる事ができるか心配なので。
- ・子供が県外在住のため。
- ・介護は想像以上に人手がかかると思うから。皆、それぞれの生活や暮らしがあり、で過ごすことは、希望してもなかなか難しいのではないかと思います。

**(8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか？****【自宅で過ごさせたい理由】**

- ・ショートステイを利用して本人の意向も聞きながら、介護する。
- ・自宅で過ごす方が、症状の悪化を穏やかにし、気分も楽ではないかと思うから。
- ・介護保険などを利用して、自宅で過ごさせたい。訪問看護師さんや歯医者先生等を利用して最期まで本人を大事にしたい。
- ・自分(私)が動けるなら、相手は自宅で過ごさせたい。
- ・できるかぎり、自宅で過ごさせたいと思いますが、本人の気持ちを尊重したいです。まだ2人元気なので、子供達ともよく話し合っておきたいと思います。
- ・可能な限り、今までの感謝を含め、自宅で介護したい。
- ・私ができる範囲は自宅で自由に過ごしてほしい、と思うが、最後は無理なので病院で。
- ・今、在宅介護をしています。少しでも長く一緒に過ごしたいと思っています。
- ・祖父母や母はできたら、自宅で過ごしてほしいです。家で過ごしてもらいたいけど、介護するのは大変なことは知っているから“意志”と“実際にどうするか”と、いうことを考えるだけでも難しいことがわかる。
- ・ある程度家で、その後施設
- ・自分が元気ならば自宅で過ごさせたいと思うが、その時の状況にもよると思う。
- ・精神的に安定した状態でいたい。
- ・慣れた所で気をつかわず過ごしたいけど、施設に入らざるを得ない状況である。
- ・家族の世話にならず、在宅で医療・介護のサービスで過ごすことができれば、できる限り在宅で！やはり家族の手を煩わせることになった時は、施設に行く。
- ・体力・気力が続くところまでは、寄り添いたい。
- ・大変でも最善をつくし、よりよい生活を頑張りたい。住み慣れたところで自由に過ごさせたい。
- ・一時的には家にいて、様子を見てあまり負担がかかりそうであれば、施設に入りたい。
- ・私がまあ元気なら自宅で過ごさせたい。
- ・自分自身では最後まで自宅でと思いますが、健康面、生活面において家族に迷惑がかかるようになってしまったら、病院・施設に入りたいと考えます。
- ・私が元気であれば自宅で、そうでなければ病院か施設に入れたい。
- ・できるところまでは、好きにさせたい。
- ・近所に仲間がいるため、子ども・孫と一緒に過ごしたい。
- ・私ができる間は、自宅で過ごさせてあげたいと思います。
- ・自分でできる範囲だったら、訪問看護師やヘルパーの手助けを受けながら、家で過ごさせたい。
- ・家族に囲まれながら、過ごさせたい。
- ・自由な環境に出来る限りおいてやりたい。
- ・自宅の方がいいが、負担も考える。。。。
- ・夫の方が年上なので、私が一年でも後でいけたら…。
- ・子供達に迷惑をかけないで、送り出したいです。
- ・できるだけ手をかけたい。
- ・現在、主人91歳(私80歳と息子独身56歳)まだ動けるので、今の所見れているが、将来動けなくなったら、分からない…。
- ・度合いにもよるが、出来るだけ自宅。

## (8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか？

### 【施設に入れたい理由】

- ・自分が元気だったら、自宅で過ごさせたいけど、身体の具合では、施設に入れたい。
- ・実家の母を一人でみていて、とても大変だった。最後は動けなくなり、病院に入院させてもらった。
- ・自分も高齢者なので、出来る限り自宅で過ごさせたいが、体力的にできなくなったら、施設に入れたいと思います。
- ・多くの事例を見聞きして、夫婦だとお互いにわがままになり、うまくいかない。笑顔を絶やして、うまくいかないのなら、施設に感謝して命を全うしてほしい。
- ・老々介護は共倒れになりかねないし、一人ではむりです。病の種類にもよりますが、重症だったら、様々なシステムがあっても病院や施設に頼りたいです。
- ・満足な介護ができる方がいいから
- ・世話することができない
- ・施設に主に入っていて、ときどき自宅に帰ってくる感じ。
- ・行き届かないから、いろんな面において安心だから。
- ・体力的に無理
- ・自分自身が高齢になり、介護が難しい。
- ・その時にならないとわからない。
- ・一人では大変なので施設に入れたい
- ・自宅で過ごさせたいと思いますが、果たして体力的に可能か疑問です。
- ・安心して生活できると思う。
- ・お互いの為に良いと考えます。デイサービス等を利用しながら自宅で過ごすことも考えますが、介護3,4,5位になると自宅で過ごさせる事によって、自分の体力以上の事をしようとするかなあ。そうすると、自分が大変になるのかなあと思うので…。
- ・専門的な知識や介護の技術がない。
- ・家族に迷惑をかけたくない。
- ・家族の状態にもよりますが、看れるところまでみてからの事になります。
- ・本人も施設に入るといっている。
- ・本人も希望している。
- ・自分でできる限り、見てあげたいけれど、場合によっては病院とか施設を利用したい。
- ・介護は専門家に任せるのが安心。
- ・老々介護は困難なため。
- ・その度合いによるとと思いますが、重度の場合は施設を選択すると思います。
- ・自分で食生活ができる間は、自宅で過ごしたいが、体が不自由になったら施設に入れたい。